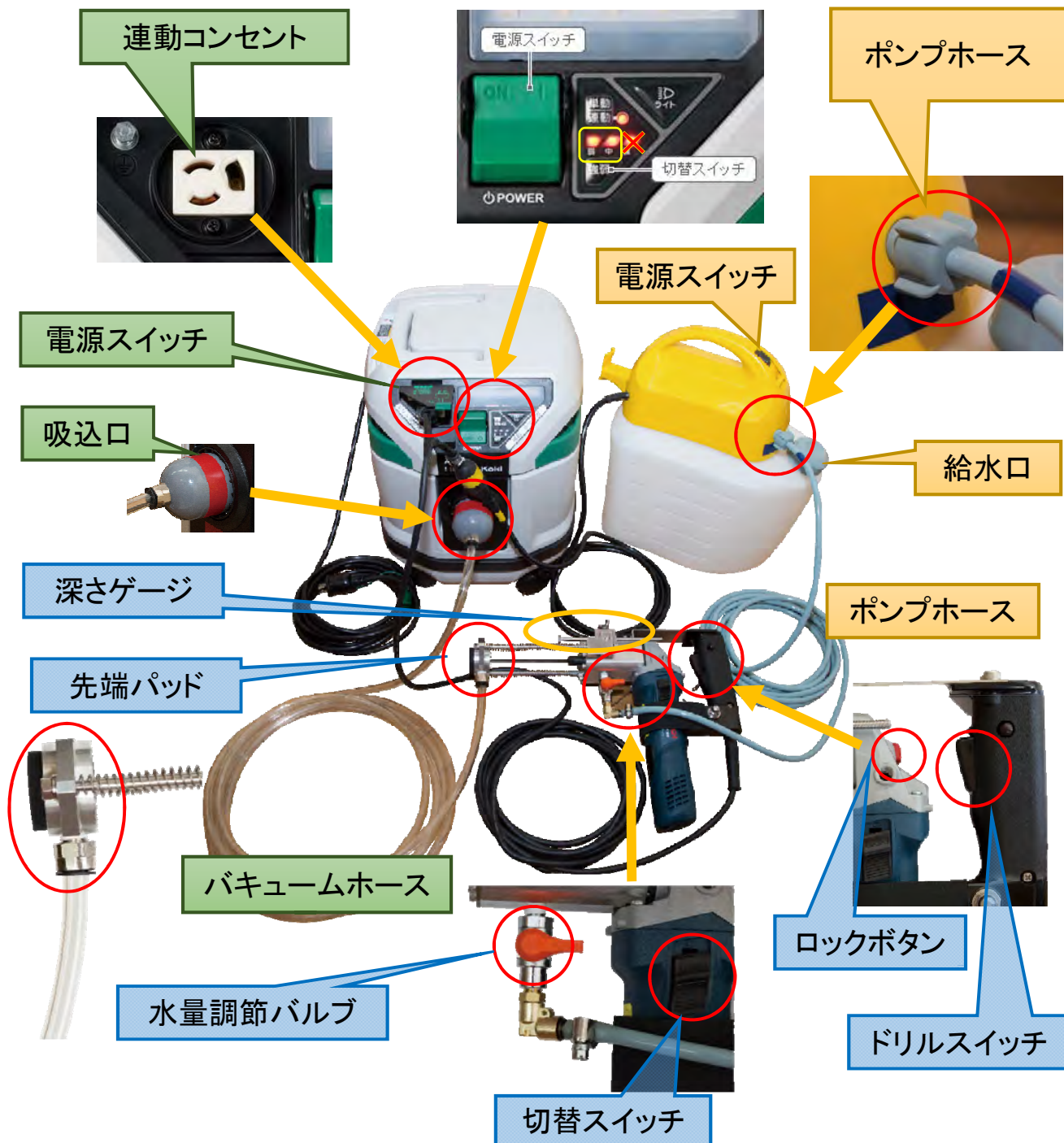


ピアダドリルシステム 作業手順書

各部名称






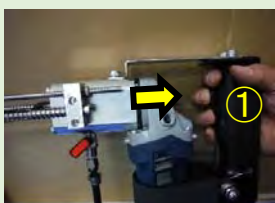



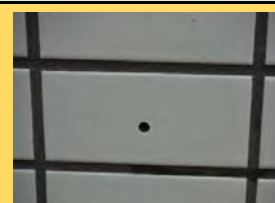
本商品に関する消耗部品のご購入については各販売店までお問合せください。
 商品の操作方法等のお問合せは株式会社グッドTEL03-6807-7901までお問合せください。

ピアダドリルシステム 作業手順書 ①

工程	作業工程	作業内容	ポイント
1		ピアダドリルシステムの準備	ピアダドリル、ピアダポンプ、ピアダバキュームを準備する。 他にピアダビット、ピアダシャンク、シャンクガイドが別途必要です。
2		電源の確保	電源はAC100V、15A以上を単独電源にて確保し接続してください。 ※ タコ足配線はショートする恐れがあり発熱、火災の原因となります。
3		ポンプの給水作業	給水口のキャップを外し水道水を満量(10L)入れる。 ※ 溶剤や薬剤等の混入をしないでください。
4		ポンプホースの取り付け	水量調節バルブを全開にしポンプホース(ドリル側)を深く挿し込む。 ※ 外す時はフチを押しながら抜く。
5		ポンプホースの取り付け	ポンプ本体側の送水口にポンプホース(送水口側)の先端側①を挿し込む。 カバー部分を確実に閉める。
6		バキュームホースの取り付け	先端パッドの継手部分にバキュームホース(透明)をしっかりと奥まで挿し込む。 ※ 外す時は黒いフチを押しながら抜く。
7		バキュームホースの取り付け	バキュームの吸込口にバキュームホースのアダプタをカチッと音がするまで挿し込む。

工程	作業工程	作業内容	ポイント												
8		ポンプ電源の接続	ドリル側面にある「切替スイッチ」と「ポンプスイッチ」をOFFにする。 ポンプ側のプラグ(黄)をドリル側のコンセント(黄)に接続する。 												
9		バキューム電源の接続	ピアダバキュームサイレントの主電源プラグを15A以上確保されたコンセントに接続する。 ※ 必ず単独電源に接続してください。 タコ足配線をするとう発熱・火災の原因となります。												
10		電源スイッチの操作	①「連動コンセント」にドリルのプラグを挿し込む。 ②「電源スイッチ」を入れる。 ③「単動/連動」を押しランプを点灯させる。 ④「強弱切替スイッチ」は必ず「中モード」にする。 ※ ドリルを作動させるとバキュームが連動します。 ドリルを停止すると約5秒遅れてバキュームが停止します。												
11		シャンクガイドの取り付け	シャンクに適合するシャンクガイドを装着する。 取付けは3mmの六角レンチを使用する。 ※ シャンクガイドの径が拡がると芯ブレの原因となりますので適切に交換してください。 <table border="0"> <tr> <td>ピアダビット</td> <td>ピアダシャンク</td> <td>シャンクガイド</td> </tr> <tr> <td>B4.0 - M260</td> <td></td> <td>→ PDS-M2SG</td> </tr> <tr> <td>B5.0 - M345/M385</td> <td></td> <td>→ PDS-M3SG</td> </tr> <tr> <td>B6.5 - M485/M4155</td> <td></td> <td>→ PDS-M4SG</td> </tr> </table>	ピアダビット	ピアダシャンク	シャンクガイド	B4.0 - M260		→ PDS-M2SG	B5.0 - M345/M385		→ PDS-M3SG	B6.5 - M485/M4155		→ PDS-M4SG
ピアダビット	ピアダシャンク	シャンクガイド													
B4.0 - M260		→ PDS-M2SG													
B5.0 - M345/M385		→ PDS-M3SG													
B6.5 - M485/M4155		→ PDS-M4SG													
12		ピアダビットの取り付け	ガイドの中央にシャンクを通した後、ビットを手締めする。 (上記表を参照) ピアダビット シャンクガイド ピアダシャンク												
13		ピアダシャンクの取り付け	ロックボタン①を押しながら13mmのスパナで確実に締め込む②。 ※ ロック場所は1回転のうち3箇所(120° / 240° / 360°)ロックします。												
14		穿孔深さの調整	先端パッドからビットを突出させ穿孔深さをスケール等で測る。 深さゲージを先端パッドに付けた状態①にしてから蝶ネジ②で固定する。 												

ピアダドリルシステム 作業手順書 ③

工程	作業工程	作業内容	ポイント
15	ON ← 	放水量の調節	ポンプスイッチのみ「ON」にする。この時点ではドリル側の切替スイッチを「OFF」のままにしてください。 ※ 無水状態ではドリルを空回しさせないこと。発熱、水漏れなど故障の原因となります。
16	閉 ↑ ↓ 開 	放水量の調節	ドリルスイッチを握り続けビットからの放水量を適切に調節する。 ※ 放水量の目安は飛距離約2m(約200ml/分)が適量ですが、躯体の状況により水量を加減してください。
17		穿孔-1	バキュームスイッチの確認をしドリルの切替スイッチを「ON」にする。先端のスポンジ部分を軽く施工面に当てる。 ※ この段階ではまだビットを施工面に接触させない ドリルのグリップ部は利き手で握り、先端パッドは反対の手で動かないように軽く支える。
18		穿孔-2	ドリルスイッチを握り①ドリルを回転させる。バキュームホース内に汚泥が吸い込まれていることを確認しながら施工面に対して真っ直ぐに軽い力で穿孔する。 ※ 穿孔中に過度のプッシュやコジリ、放水量の不足によりビットとシャンクの目詰まり及び折れ等の破壊の恐れがあります。
19		穿孔-3	深さゲージが先端パッドに触れるまで穿孔する。 ※ 穿孔時、上下左右に動かすとビットが折れる恐れがありますので真っ直ぐ穿孔してください。
20		穿孔-4	規定の深さまで穿孔したら軽く抜き差ししながらドリルをゆっくりと抜く。
21		穿孔-5	先端パッドを施工面に付けたままドリルをゆっくりと抜き、ドリルスイッチを「OFF」にする。 バキュームが汚泥(ノロ)を吸引し約5秒で停止してから離す。
22		施工完了	ブレのない高回転ドリルによりタイル欠けが少ない。 強力な吸塵力により汚垂れが無くキレイに穿孔が可能です。